

令和7年度「日本史探究」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
日本史探究		選択	5	普通科文型・G C科
教科書 副教材等	教科書：『詳説日本史』（山川出版社） 副教材：『図説日本史通覧』（帝国書院）			

1 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 学習概要

3 学習方法

- ・受け身にならないためにも事前に教科書を一通り読んで、問題意識を持って授業に望んでください。
- ・授業は真剣に、一言一句も聞きもらさず、メモを取るなどしてポイントをつかんでください。
- ・問題意識を持つためにも、積極的に質問してください。疑問があったら積極的に質問したり、Chromebook などを使用して調べてください。
- ・副教材のノートや授業のメモをしっかりとまとめてください。
- ・日頃の「リアクションシート」をおろそかにせず、提出を必ずしてください。
- ・定期試験前には歴史用語はもちろん、その意味もよく理解して覚えてください。

4 評価について

（1）評価方法

「知識・技能（①）」、「思考力・判断力・表現力（②）」、「主体的に学習に取り組む態度（③）」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

「知識・技能（①）」：定期試験・小テストなど

「思考力・判断力・表現力（②）」：授業プリント・リアクションシート・発表など

「学びに向かう力（③）」：ノート・提出物・授業態度・リアクションシート・発表など。

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

（2）評価規準

	知識・技能（①）	思考力・判断力・表現力（②）	主体的に学習に取り組む態度（③）
評価基準	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい（内容のまとめりごと）	考查等
一学期	第1章 日本のあけぼの	○考古資料と文献資料に基づき、旧石器・縄文・弥生の各時代の文化や社会の変化・特色について考察する。	1学期中間考查
	第2章 古墳とヤマト政権	○中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、古代国家の形成と古墳文化の特色を理解し、大陸の文物の導入と支配の拡大強化との関連について多角的に考察する。	
	第3章 律令国家の形成	○隋・唐など中国王朝との関係に着目して、律令体制の成立過程や仏教を中心とした文化の発展について多面的・多角的に考察する。	

	第4章 貴族政治の展開 第5章 院政と武士の躍進 第6章 武士政権の成立 第7章 武家社会の成長 第8章 近世の幕開け	○平安時代の藤原氏を中心とする貴族政治の展開や、律令体制の変質による地方支配の変化と武士の出現について、多面的・多角的に考察する ○院政の開始や荘園公領制の成立を通じて、古代から中世社会への転換を多面的・多角的に考察する。 ○鎌倉幕府の成立過程や、武家と公家・寺社の関係の変化について多角的に考察する。 ○東アジア世界との交流に着目して、室町時代から戦国時代にかけての経済発展と庶民の台頭について多面的・多角的に考察する。 ○ヨーロッパ人のアジア進出とその影響に着目し、織豊政権の成立の意義やその後の時代への影響について多面的多角的に考察する。	1 学期期末考查
二 学 期	第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本	○貿易の統制と対外関係、技術・学問・文化の発展などに着目し、幕藩体制の確立の意義、近世の社会と文化の特色を多角的に考察する。 ○産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕藩体制の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開などを基に、近代化の基盤の形成について多角的に考察する。 ○欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響に着目して、開国から明治維新に至る国家・社会の変容について考察する。 ○明治維新による中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る過程について多角的に考察する。 ○日清・日露戦争、第一次世界大戦の背景と、政治・外交・経済・文化・社会に及ぼした影響について多角的に考察する。 ○産業革命の達成、資本主義の成立に伴う社会問題の発生や大衆文化の特色について多角的に考察する。 ○戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺を背景として、協調外交が挫折し軍部が台頭したことを理解し、満州事変から太平洋戦争に至る過程について多角的に考察する。 ○戦後の占領政策および民主化政策とそれとともに諸改革について、その経過と内容を理解し、冷戦構造の下、連合国による占領が終結して日本が独立した意義を考える。 ○55 年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過と、独立回復後の日本の外交の動き、その背景にあった高度経済成長による社会のひずみについて、多角的に考察する。 ○日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解し、冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、多角的に考察する。	2 学期中間考查 2 学期期末考查
三 学 期	時代の概観（学習の総復習）	学習した内容を踏まえて、各時代の特色について政治・外交・経済・社会・文化各方面から多角的に比較し整理する。	